

水産業強化支援事業事後評価報告書

		千葉県	
政策目的		水産資源の持続的利用管理の推進（令和元年台風 15 号及び 19 号により被災した施設の復旧）	
政策目標		資源増養殖目標	31-8
事業実施主体		新富津漁業協同組合	
実施地区名		富津地区	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		令和元年度～2 年度	令和 4 年度
交付金額		4, 933, 000 円	
事業計画の内容		ノリ培養施設 2 棟の修繕、ノリ網冷凍保管庫・海水揚水施設の の附帯施設（受電施設）の修繕、海水揚水施設の修繕	
評価	成果目標	ノリ生産枚数を指標とし、計画時点の現状値である ■■■ 万枚を目標とする。	
		現状値	（令和 4 年度末時点） ■■■ 枚
		目標値	（令和 4 年度末） ■■■ 枚
	（1）現状値の説明		本漁業協同組合所属の組合員によるノリ生産枚数を指標としたところ、目標値の ■■■ 枚に対し、現状値は ■■■ 枚（目標値の 46.1%）であり、目標達成には至らなかった。
	（2）地域への経済効果 （ハード事業のみ）		被災した共同利用施設が現状復旧したことにより、被災前と同様の漁業生産活動が可能となった。
	（3）所見		今回被災した採苗施設や冷凍保管施設は所属組合員の養殖生産に欠かせない施設であり、復旧によって生産活動の再開が可能となった。 一方、近年はノリの不作が続いており、生産枚数の現状値は目標値を大きく下回った。 また、不作に伴い組合員の減少が急激に進み、目標値の根拠とした平成 26-30 年度漁期では、生産者数が 73～96 名であったのに対し目標年（令和 4 年度）漁期の生産者数は 32 名に減少しており、生産枚数の落ち込みに繋がった。

	(4) 評価機関の意見等	
今後の改善方向等に関する分析	ノリ養殖の不作は県内全域で発生しており、クロダイによる食害や高水温・低栄養等により、近年は非常に厳しい生産状況となっている。 本漁業協同組合では、平成 30 年度及び令和 2 年度に共同加工施設を整備し、生産性の向上を図っている。また、不作の原因となっている食害に対しては、防除ネットの設置等の対策を行っている。 一方、生産者数は減少を続けているものの、平均単価が上昇していることもあり、生産者一人当たりの生産金額は、目標値の根拠とした平成 26-30 年度漁期では、平均 ●●円であったのに対し、目標年（令和 4 年度）漁期は ●●円であり、約 1.4 倍となっている。 今後も防除ネット等の食害対策を継続するとともに、県の研究機関と連携するなどして効果的な食害対策を進めることができれば、生産枚数の増加及び生産者の所得向上が期待される。	